資料２

４ こどもの意見聴取結果からみえる現状

（１）未就学児の意見聴取

■実施日

令和７年３月 19 日（水）、令和７年３月 21 日（金）

■聴取対象

市内公立保育園　１箇所　５歳児クラス（13 人）

■聴取方法

こどもの意見聴取用に作成した紙芝居「きかせてみんなのこえ」の読み聞かせを行い、あきる野市に「あったら良いと思う場所」や「やってみたいこと」について、こどもたちに自由に絵を描いてもらうことで、意見を聴取しました。

その後、児童一人ひとりに「おもいきりからだをうごかしてあそべるまち」「いきものやしぜんとふれあえるまち」「おうちいがいでもあそべるばしょがあるまち」「いろんなひととふれあえるまち」のイラストを提示し、その中から自分の希望に合うものを２つ選んでもらい、選んだ理由を聴取しました。

■実際に聴取した意見

①「あったら良いと思う場所」「やってみたいこと」の意見聴取

＜あったら良いと思う場所＞

「あったら良いと思う場所」では、博物館や虫や動物とのふれあい体験ができる施設をはじめとした意見が多くあがったほか、テーマパークや遊園地等の施設などの意見もあがりました。

＜やってみたいこと＞

「やってみたいこと」では、自然体験や、動物とのふれあいなどの意見があがりました。

【こどもたちが自由に描いた絵】



イルカに会いたい



家の近くに虫がいっぱいいるところがあったらいいな

（２）小学生・中学生の意見聴取（あきる野市子どもの学習・生活支援事業）

■実施日

令和７年３月６日（木）～令和７年３月 12 日（水）

■聴取対象

子どもの学習・生活支援事業を利用する小学５・６年生（25 人）、中学１～３年生（44 人）

■聴取方法

対象児童・生徒を全体及び個別に分け、意見聴取を実施しました。

■実際に聴取した意見

① 居場所について

【小学生】

―放課後よく過ごす場所―

家/公園/友達の家/学校/習い事/学童　など

―あったら良い場所―

スーパーなどの商業施設/駄菓子屋
友達と一緒に勉強ができる場所/大きい公園
不審者がきたときに逃げ込める場所　など

―居づらい場所―

学校/職員室/学童/路地裏/汚いところ　など

【中学生】

―放課後よく過ごす場所―

家/友達の家/公園/塾/部活や習い事　など

―あったら良い場所―

自習室/カフェ/勉強ができる場所/本屋
ボールが使える公園や場所/美術館/博物館
大きなショッピングモールや飲食店　など

―居づらい場所―

学校/家/公園/人がいなくて暗いところ　など

② どのような方法であれば、あきる野市に意見を伝えやすいか

【小学生】

市の職員や市長に直接意見を伝えられる場
手紙/LINE/スマホやタブレット/意見箱　など

【中学生】

WEB サイト/市長・市職員に直接/電話やメール
学校でアンケートをとる　　など

③ あきる野市に言いたいこと（どのようなことでも可）

【小学生】

・観光できる場所を増やしてほしい
・自然を活かした施設を作ってほしい
・川沿いの雑草や杉の木の管理をしてほしい
・街をきれいにしてほしい
・電車の本数を増やしてほしい
・不審者がいなくなってほしい　　など

【中学生】

・大型のショッピングモールやスーパーなど、買い物できる場所がほしい
・公園以外にも、遊べる場所がほしい
・電車の本数を増やしてほしい
・学校の校舎や設備を綺麗にしてほしい
・街灯や道路を整備してほしい
・川などの自然環境を守ってほしい　　など

《結果から見える現状》

子どもたちが安全･安心に生活できる環境の整備が求められていることが分かりました。

（３）学童クラブ・児童館での意見聴取



■実施日

令和７年６月 25 日（水）

■聴取対象

学童クラブ・児童館を利用する小学校１～６年生（89 人）

■聴取方法

こどもの意見聴取用に作成した紙芝居「きかせてみんなのこえ」の読み聞かせを行った後、少人数のグループ（４人程度）に分け、対面でヒアリングを実施しました。

■実際に聴取した意見

① 学童クラブ・児童館の好きなところなどについて

●学童クラブ・児童館の好きなところや遊び

お絵描き/本読み/トランプ/切り絵/お友達と遊ぶこと　など

●嫌なところ・直して欲しいところ

声とかがうるさい/いつも狭い

もう少し遅くまで遊べるようにしてほしい　など

●どのようなところだったら、もっと来たいと思うか

お祭りなどのイベントがあったらもっと来たい

泳ぎの練習ができるようにしてほしい　など

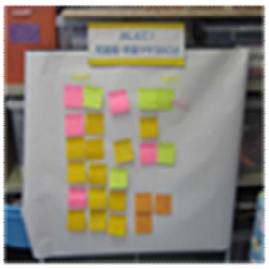
【集まった意見】



② あきる野市にあったら良いと思う場所について

・動物とふれあえるところ
・自然であそべるところ
・大きい公園や買い物ができるところ　など

【集まった意見】



③ 休日の過ごし方について

・勉強や宿題をする
・プールやダンスの習い事
・テレビを見たり、スマートフォンやタブレットを使っている
・家族とお出かけする　など

【集まった意見】



《結果から見える現状》

児童館を利用する児童にとって、他者と関わりながら育ち、安心して過ごすことのできる「居場所」として、大切な居場所のひとつであることが分かりました。

学童期・思春期の支援

施策 2-3　こどもが安心して過ごし、学ぶことができる教育環境の整備

こどもの健やかな成長と将来的な自立のためには、学童期・思春期の成長過程における学習環境が重要です。全ての児童・生徒の多様なニーズに対応した学校教育を目指し、一人ひとりが自分らしく過ごし学べる教育環境づくりを推進します。

主な取組

- 学校教育の充実【指導室】

  著しく変化し予測が困難な時代を生きるこどもたちが、その変化を前向きに受け止めながら、新たな局面を乗り越え、他者との関わりの中で生き抜いていく力を育む教育を目指します。また、特別な支援を必要とする児童・生徒に限らず、全ての児童・生徒の多様な教育的ニーズに対応できる学校教育を目指すとともに、こどもたちを取り巻く教育環境の整備に努めます。

- 青少年健全育成事業の推進【生涯学習推進課】

  次世代を担う青少年の心身の発達を促し、自立した人間性を育むため、青少年の育成事業の充実を図ります。

こんな声がありました

・こどもの実態が多様化しているので、フリースクール*のような事業が増えていったらいいと思う。（15～29 歳調査）

・学校で、病気や障がいのある方の講演をしてほしい。（小５・中２調査）



カラフルルームご存じですか？

不登校のお子さんが相談や学習、カードゲームなどして過ごすことができる場所です。教員経験のある指導員がおり、保護者の方のお子さんに関する進路相談やお悩み相談にも対応しています。

カラフルルーム（市内全小・中学校）

教室に入りづらい児童・生徒等の居場所として、各学校内に設置し不登校の児童・生徒への支援を行っています。

【は行】

伴走型相談支援事業…P55

保健師等との面談を通じて、妊娠期から子育て期まで一貫して、ニーズに即した支援につなぐ事業のこと。

貧困の連鎖…P46

経済的困窮や、医療や教育の機会の喪失など、自力では抜け出すことが困難な状態のために、そのこどもや孫の世代まで同様の状態が続いてしまうこと。

不育症…P55

妊娠はするが、流産・死産又は早期新生児死亡が２回以上続き、こどもを得られない状態のこと。

不妊症…P55

妊娠を望む健康な男女が、避妊をせず定期的に性生活を送っているのに、１年以上妊娠しない状態のこと。

フリースクール…P57

何らかの理由から学校に行けない、行かない、行きたくても行けないこどもたちが、小学校・中学校・高校の代わりに過ごす場所のこと。ＮＰＯ法人やボランティア団体等により運営されている。

ファミリー・サポート・センター…P65

子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が会員登録し、地域の中で助け合いながら子育て支援を行う組織のこと。

保育所や幼稚園、小学校、学童クラブの送迎や、保護者の外出時の一時預かりなど、多様な子育て支援サービスを提供している。

プッシュ型…P1

緊急時等に、申請を待たずに必要と思われる人へ能動的に行う支援のこと。

放課後子ども教室…P18

地域住民等の協力を得ながら、小学校や地域施設を活用して、全ての児童が放課後や週末に安全・安心に過ごしながら多様な体験・活動ができる居場所を提供する事業のこと。

【や行】

ヤングケアラー…P46

本来大人が担う、家事や家族の世話などを過度に行っている、こども・若者のこと。